

「言葉の違いで命の差をつくらない～救急場面の医療通訳」

日本に中長期滞在する外国人は2018年末で、273万人と過去最高に人数になっています。また、訪日外国人も年間3000万人を超え、医療現場で外国人観光客に対応する機会も増えてきました。その中で増加しているのが救急対応です。在住外国人においては、高齢化による体調の急変や労働災害などの事故、交通事故が増えています。また、訪日外国人においては、心疾患や脳疾患、スポーツによるケガ、感染症から精神疾患まで、予想もしない救急利用があります。時間との闘いである救急現場で、「言葉の差」が「命の差」にならないように、対応可能な医療通訳の技術を磨くための連続講座です。

10月20日（日）午後1時から5時 場所：東洋医療専門学校（新大阪駅徒歩5分）
「救急救命士の仕事（演習含）」 東洋医療専門学校講師

11月10日（日）午後1時から5時 場所：西宮市大学交流センター 講義室1
「救急医の仕事」 益田充医師（日赤和歌山医療センター 外傷救急部/外科/精神科）
「精神疾患の救急時対応」 浜内彩乃先生（バイオメディカル専門学校医療福祉心理学科）

12月15日（日） 場所：未定
午前10時から12時 言語分科会（英語・ポルトガル語・ベトナム語）
午後1時から3時 通訳技術基礎講座（近畿大学国際学部国際学科 内藤能教授）
午後3時から5時 言語分科会（スペイン語・中国語・タイ語）

参加者：医療通訳者としての資質を持ち、今後救急救命現場の医療通訳を担うことが予想される医療通訳者（50名程度）

昨年に引き続き、日本語が母語ではない医療通訳者の団体推薦聴講を行います。
協力団体から推薦された方は無料で参加することができます。

費用：MEDINT会員及び医療通訳団体推薦者 無料
その他 3000円（全回）

主催：医療通訳研究会（MEDINT）
助成：兵庫県いのちと生きがいプロジェクト

